



けやきの子

令和5年3月8日

北小学校だより

No.17



北小の教育目標 「豊かに生きる子」～考える子 思いやる子 やりぬく子～

～6年生からバトンタッチ～

校長 川松 雅史

3月3日、6年生を送る会を実施しました。様々な活動で6年生からの引継ぎを行っています。

◇「感謝の思いが伝わった」6年生を送る会

5年生と6年生の双方の児童の願いから、テレビ放送による会ではなく、全校が体育館に集まった形で6年生を送る会を行いました。各学年が「お世話になった6年生に感謝の思いを伝える発表」を行い、下級生から6年生一人一人へのメッセージカードを渡す、といった内容でした。全校児童が体育館に集まるのは実に3年ぶりです。久しぶりに全校が集まったことによる浮わついた雰囲気は全くなく、凜とした空気の中で、各学年からの6年生への感謝の思いが伝わりました。特に、5年生実行委員による号令や司会者のメリハリのきいた進行、トップバッターの1年生のまとまりある元気な発表のおかげで、会が進むにつれ全校の心が一つになっていくのを感じました。学年ごとに発表



1年生の発表(ダンス・替え歌)



会を進める5年生



発表を見る6年生

内容が違い、また発表の方法も、ダンス、歌、劇、楽器演奏、俳句、呼びかけなどアイデアあふれるものでした。そんな下級生の発表を見る6年生のまなざしは真剣で、温かいものでした。逆に、6年生からは「自分達が大切にしてきた『あいさつ・そうじ・なかよしタイム・太鼓・通学班』の5つを高めてほしい」というメッセージが伝えられました。会を終え、6年生から「下級生にお礼のメッセージを書きたい。」という声があがり、有志が書き始めたところ、結局6年生全員がメッセージを書くことになりました。「感動した。」「涙が出た。」「対面だからこそ伝わるものがあった。」「先生方もありがとう。」こんな素敵な言葉が並んでいます。



いじめで苦しむ子をなくしたい ～無記名アンケートの実施～

北小学校では、「いじめ防止基本方針」に基づき、年7回児童にいじめに関わるアンケートを実施しています。また、そのうちの2回は、無記名で行っています。その目的は、「名前を知らせると書きづらい。」という子がいるかもしれない、という予想の元、誰にも相談できずに苦しんでいる子がいないかを把握することです。保護者の方にも、こういったアンケートを行っていることを知っていただき、家庭でも時々「何か心配や困っていることはない？」と聞いていただくとありがたいです。



※裏面に、12月実施の「保護者アンケート集計結果」を載せました。ご協力ありがとうございました。